



2025 年 5 月 14 日

各 位

会社名 株式会社アルメディオ
代表者 代表取締役社長 高 橋 靖
(コード番号 7859 スタンダード市場)
問合せ先 取締役 (経理・情報開示・IR担当)
関 清 美
電話番号 042-511-0500 (代 表)

中期経営計画 2025 の実施について

この度、当社は、直近の経済状況および事業環境の変化に対応するべく中期経営計画（2026 年 3 月期（第 46 期）から 2028 年 3 月期（第 48 期））をローリングし、「中期経営計画 2025」として実施しますので、下記のとおりご報告いたします。

記

1. 計画実施の成果

当社は、2024 年 5 月 14 日発表の「中期経営計画 2024」に基づき施策を実施することで、事業構造改革のスピードを上げ、機能性材料メーカーへの転換を図るべく、ナノマテリアル事業の成長スピードアップ、断熱材事業の更なる成長、さらに第三の事業とすべく CMC（セラミックマトリックス複合材）のマーケティングに取り組んでまいりました。

ナノマテリアル事業は、有償でのサンプル品の販売を行い、国内外共に評価していただく業種は拡大しております。新製品の高分散導電用 CNF、および連結子会社・阿爾美（蘇州）科技有限公司の新規商材である高純度 SiO を加え、さらに日本 NER 株式会社より譲り受けた資源・材料販売を開始するなど、製品ラインナップの拡充を図りました。また、補強用 CNF を添加した 3D プリンター用フィラメントがフィラメントメーカーより上市され、コンポジット成形品では最終ユーザーでの確認が終了するなど、採用が徐々に拡大しています。さらに資源・材料販売の営業活動では、量産を見据えた受注及び出荷も順調に推移しており、CNF や高純度 SiO も同時に評価していただくシナジー効果も生まれております。

断熱材事業は、国内において、新たな商流を開拓し、工業炉の新設工事、炉修案件等の販売が増加しました。連結子会社・阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司及び阿爾美（蘇州）科技有限公司において、太陽光発電パネル製造向け拡散炉用ヒーターモジュールの特需からの反動減をカバーすべく、販路を半導体向けに広げ活動し、さらに阿爾美（蘇州）科技有限公司の設立により、新規商材の開発、生産のための大型設備の設置が可能となり、高純度 SiO、アルミナ粒子等の新規商材の生産を開始しました。

また、新設した事業企画室において、CMC のマーケティングを進め、防衛関連業界向けにサンプル販売を行いました。

2. 計画の見直しおよび方針について

各事業計画の進捗を評価・修正し、断熱材事業、ナノマテリアル事業を軸に、第三の事業とすべく CMC のマーケティングを進め、機能性材料メーカーの確立を図ります。

3. 中期経営計画の骨子

各事業の成長により利益の最大化を図り、2028年3月期までにROE8%以上、PBR1倍以上を維持し2倍以上を目指します。

(資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応が求められる中で、資本収益性向上や成長性の具体的な指標を計画の骨子といたしました。)

4. 具体的施策

- (1) ナノマテリアル事業の成長と売上拡大
- (2) 断熱材事業の更なる成長と売上拡大
- (3) 新規分野への参入
- (4) M&Aの推進
- (5) 人材の確保

5. 中期経営計画主要数値

(1) 経営計画(連結) (単位: 百万円)

	2026年3月期(第46期)	2027年3月期(第47期)	2028年3月期(第48期)
売上高	4,539	6,001	7,354
営業利益	280	603	831
営業利益率	6.2%	10.1%	11.3%

(2) 事業別売上計画(連結) (単位: 百万円)

	2026年3月期(第46期)	2027年3月期(第47期)	2028年3月期(第48期)
断熱材	4,261	4,971	5,785
ナノマテリアル	277	1,029	1,569
合計	4,539	6,001	7,354

(3) 事業別構成比率(連結)

	2026年3月期(第46期)	2027年3月期(第47期)	2028年3月期(第48期)
断熱材	93.9%	82.8%	78.7%
ナノマテリアル	6.1%	17.2%	21.3%

※為替換算レート 1人民元=20.0円

断熱材事業において、中国市場の不安定さを鑑み、債権回収可能性を慎重に判断し受注可否を決定しております。さらに、高品質な製品で評価を得ている当社連結子会社においても、安価に販売を行う競合先に受注が流れている状況に対応するため、リピートオーダーについては値下げによる受注を計画しており、第45期と比較して売上高・利益共に減少いたしますが、ヒーターモジュールの販路を半導体向けに拡大し、新規商材である高純度SiO₂やアルミナ粒子等の生産・販売、ならびに、電気炉及びガス炉の販売に注力することで、売上拡大を図ります。また、顧客からの要望や問題点を検証・分析し、新たな付加価値の提案による他社製品との差異化を進めることにより、第47期以降は売上高が増加すると見込んでおります。

また、第1四半期は中国の春節の期間があること、ヒーターモジュールのリピートオーダーの受注が第3四半期以降の見込みであること等から、売上高・利益共に下期偏重が見込まれます。

ナノマテリアル事業においては、第46期は3件~4件の本格採用、第47期から量産採用を見込んでおります。

事業企画室において進めている CMC 関連の売上につきましては、現時点で事業化の時期が確定していないため、上記計画値の売上高には組み込んでおらず、事業化決定までの期間は営業外収益に計上する予定です。

なお、上記予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により計画数値と異なる可能性があります。ヒーターモジュールの新規・追加仕様による受注や、リピートオーダーの受注見込の増減、為替レート的大幅な変動、ナノマテリアル事業における本格採用の見通しが早まった場合等には、上記計画値を見直し、速やかに開示いたします。

その他詳細については、当社ホームページ掲載の「中期経営計画 2025」をご参照ください。

<https://www.almedio.co.jp/cp/plan/>

以 上